

第3回 積雪寒冷地域における道路舗装の損傷に関する有識者会議 議事要旨

日時：令和6年6月21日（金）10：00～

場所：中央合同庁舎3号館 道路局D会議室（web 併用会議）

出席者：

【有識者】

◎：座長

稲津 将	北海道大学 大学院理学研究院 教授
◎亀山 修一	北海道科学大学 工学部 都市環境学科 教授
高橋 茂樹	金沢工業大学 工学部 環境土木工学科 教授 （敬称略、五十音順）

【実務委員】

河崎 拓実	北海道開発局 建設部 道路維持課 道路保全対策官
五十嵐 一之	東北地方整備局 道路部 道路保全企画官
猿子 求	北陸地方整備局 道路部 道路保全企画官
黒田 健一	北海道 建設部 維持管理防災課 維持担当課長
石川 康樹	秋田県 建設部 道路課長 （欠席）
小林 雅史	山形県 県土整備部 道路保全課長
水上 淳	新潟県 土木部 道路管理課長

【オブザーバー】

西田 将人	水管理・国土保全局 防災課 防災政策調整官
直原 史明	道路局 国道・技術課 道路技術分析官
和田 賢哉	道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室長
吉松 和義	気象庁 大気海洋部 気候情報課長

【事務局】

道路局 環境安全・防災課 道路防災対策室
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室
土木研究所 道路技術研究グループ（舗装）
寒地土木研究所 寒地道路保全チーム

議事：

- （1）舗装損傷における要因整理
- （2）「凍結・融解」に伴う舗装損傷の対策（案）

議事要旨：

- これまで、冬期における「異常な低温」による路床の凍結を要因とした舗装損傷については、「凍上災害」として位置付けていたが、近年では、地球温暖化による気候変動（みぞれ・降雨、融雪の増加、ゼロクロッシングの発生）を要因とした路盤の凍結・融解が、舗装損傷を誘発するとの検証結果が得られた。
- 暖冬により降雪が少なく、融雪量が少ない昨冬においても、ゼロクロッシングの発生が見られることから、舗装損傷は発生していると考えられる。

- 当該メカニズムにより損傷した箇所の対応については、打換え、水の浸入抑制を基本とし、更なる対策として水を滞水させない路盤構造の検討も必要。
- 気象観測点は主に平地にあるが、道路は山間部・高地にもあることから、北緯や標高が上れば気温が低下することを念頭に置き平地の観測地点で得られたデータを換算するなどすれば、よりメカニズムの理解が深まる。
- ポットホールの発生により交通が阻害され、人・もの・財産に影響を及ぼすことから、今回示されたメカニズムも災害ととらえ災害復旧事業の採択要件の材料として検討するとよい。

以 上